

あいさつ運動の好事例

岡山市立足守小学校

(児童数 186 名 教職員数 21 名)

笑顔で広がるあいさつ運動

～ 中学校区での取組 ～

アピールポイント

中学生が登校前に小学校を訪問し、小学生とともにあいさつをします。小学生は、月1回、お兄さんお姉さんと会えるのをとても楽しみにしています。

中学生をお手本にして、運営委員会の児童が中心になって小学校独自のあいさつ運動も行っています。

実際の様子



取組の概要

■児童生徒の実態

下校時には自分から進んであいさつができる児童がほとんどですが、集団登校の際には周りの目を気にしてあいさつができにくい児童がおり、個人や登校班による差があります。

■活動内容

毎月10日の県下一斉あいさつ運動にあわせて、登校前の中学生が小学校を訪問し、小学校運営委員会の児童とともに、正門であいさつをしています。

年に2回、児童会主催で小学校独自で行います。花のアーチや、がんばりカードをつくって、気持ちよいあいさつができるように呼びかけています。

学区の婦人会の方が、毎学期の始業式の日正門前であいさつ運動をしてくださっています。

■取組の参加メンバー

毎月10日は、教職員、児童、保護者、地域の方が参加します。

小学校独自のものは、教職員と児童で行います。児童運営委員会が中心となって行います。

■成果・効果

自分からあいさつをしようとする児童が増えています。朝、あいさつ運動を行うことで、気持ちよく1日をスタートさせて、がんばろうという意欲を育てています。